

PIARC（世界道路協会）キックオフミーティング参加報告

雪氷チーム 上席研究員 松澤 勝*

1. はじめに

PIARC（世界道路協会）のキックオフミーティングが、2012年3月20～22日に、フランス共和国・パリ市で開催された。筆者は、PIARC 冬期サービス委員会(TC2.4)の日本の委員として参加する機会を得たので、その概要を報告する。

2. PIARC とは

PIARC は、1909年に設立された国際機関でパリに本部を置く。現在の正式な名称は World Road Association で PIARC は、旧名称の常設国際道路会議協会 (Permanent International Association of Road Congresses) の略称であるが、現在も使われることが多い。PIARC には、世界中の国や地域、地方公共団体等が加盟しており、日本の第1代表は国土交通省道路局長が務めている。

PIARC は、道路の建設、改良、維持、利用技術等といった道路技術の向上と道路交通政策の策定及び新たな道路技術の開発に貢献することを目的としている。この目的の下で4年毎に活動計画を策定し、それに基づき戦略テーマ(ST: Strategic Theme)を定めている。2012年からは新しい計画期間(ターム)となり以下の4つの戦略テーマが設けられた。

- ・ST-1: マネジメントとパフォーマンス
- ・ST-2: アクセスと移動
- ・ST-3: 安全
- ・ST-4: インフラストラクチャー

これらの戦略テーマ毎に4～5の技術委員会(TC: Technical Committee)やタスクフォースが設けられている。筆者が委員を務める TC2.4冬期サービス委員会が属する ST-2には、以下の TC がある。

- ・2.1: 道路ネットワークオペレーション
- ・2.2: 都市圏のモビリティ改善
- ・2.3: 貨物輸送
- ・2.4: 冬期サービス
- ・2.5: 地方道路システムと地方へのアクセシビリティ

3. キックオフミーティングの概要

3. 1 全体会議

新タームの活動を議論するため、3月に週替わりで戦略テーマ毎のキックオフミーティングが行われた。

ST-2のキックオフミーティングは、第3週の20日午後から、パリ郊外のラ・デファンス地区にあるクール・デファンスで行われた(写真-1)。始めに ST-2 に属する TC の委員を一堂に集め、PIARC の概要やミッション及び ST-2の活動計画について、コルテ事務局長や ST-2コーディネータの大西博文氏(土木学会理事)よりプレゼンテーションが行われた。



写真-1 ラ・デファンス地区。右側の曲線形のビルが会場のクール・デファンス

3. 2 TC2.4冬期サービス委員会概要

21～22日は各 TC に分かれて会議が行われた。TC2.4冬期サービス委員会では、フランスのジロッペ氏が委員長となり、以下の報告や議論が行われた(写真-2)。

(1)前タームの活動報告

前ターム(2008～2011年)の技術委員会の活動テーマ毎の調査レポート、雪氷データブック(各国の気象概況や冬期道路管理等をとりまとめた冊子)、国際冬期道路会議ケベック大会や発展途上国で開催した冬期道路セミナー等の活動について、再任された委員が分担して報告を行った。なお筆者は冬期道路セミナーについて報告を行った。

(2) 国際冬期道路会議

第14回国際冬期道路会議は2014年2月4～7日にアンドラ公国で開催される。これに関する準備状況がアンドラ公国の委員より説明された。大会の主要なイベントは、テクニカルセッション、テクニカルビジット、除雪選手権、展示会である。また大会で配布する雪水データブックの作成も主要なミッションである。

会議では、テクニカルセッションのトピックを議論し、次の7つのトピックを決定し、各トピックの担当(今後、査読やプログラム編成、座長を担当する)を割り当てた。筆者は Topic 3を担当することになった。

Topic 1. 冬期サービスと気候変動

Topic 2. 予算制約下の冬期サービス

Topic 3. 異常な気象イベント

Topic 4. 冬期サービスのマネジメント

Topic 5. 運用上の取り組み、除雪機械、施設等

Topic 6. 冬期道路状況下の道路利用者

Topic 7. 冬期道路状況下のトンネルと橋梁

また、次のとおり、今後の主要なスケジュールが報告された。

2012年6月 会議ブリテン1発行、論文概要募集

2012年9月 展示の募集開始

2013年6月 会議ブリテン2発行

(3) 現タームの活動テーマ

現ターム(2012～2015年)においてTC24冬期サービス委員会は次の4つの活動テーマを有している。会議では Issue2.4.1～2.4.3のワーキンググループ(WG)への参加希望を募った後でWG毎に集まりリーダーを選出し当面の作業を確認した。

- Issue 2.4.1 Crisis management of unusually severe and/or sustained snow events (極度の豪雪や長期にわたる降雪現象時の危機管理)
- Issue 2.4.2 Sustainability and climate change considerations in winter operation (冬期運用における持続可能性および気候変動の検討)
- Issue 2.4.3 Advanced technology for data collection and information to users and operators (データ収集および利用者や運営者に対する情報に関連する最新技術)
- Issue 2.4.4 Preparation of the 2014 Winter Road Congress in Andorra (2014年アンドラ冬期道路会議の準備)

筆者は、近年、豪雪や暴風雪による通行止めが発生し社会的な影響を与えていることから、Issue2.4.1のワーキンググループ(WG2.4.1)に参加することとし

た。WG2.4.1では、英国のHobbs氏をリーダーに選び、各国のケーススタディを収集することを決定した。

(4) その他

PIARCでは、各委員会に対してターム内に発展途上国等で2回のセミナーを開催することを求めている。TC24冬期サービス委員会では、2013年にチリでセミナーを行う旨報告された。また次回のTC24冬期サービス委員会はアンドラ公国で9月に開催することとなった。



写真-2 技術委員会の様子

4. おわりに

今後とも、冬期サービス委員会の委員として、皆様のご指導とご支援を受けながら国際的な技術的協力に貢献するとともに、有用な知見を取り入れられるよう努力したいと考えている。



松澤 勝*
MATSUZAWA Masaru

寒地土木研究所
寒地道路研究グループ
雪氷チーム
上席研究員
博士(工学)
技術士(建設)
気象予報士